

# 防災会だより

## 第2号

発行 恵み野南  
自主防災会  
連絡先：天坂 (37-3398)

## 《日頃からの備え》

「阪神・淡路大震災」の教訓として、『震災の3年前に神戸に転勤となり「もう地震の心配がない」ということで地震保険を外してしまっていて震災にあった』という例や『両親との同居のため2階を増築した際、福井地震を経験した父は鉄骨造りを望んだが、業者に「神戸は地震のないところだから木の柱で大丈夫」と言われ木造にして震災にあった。』という体験談が伝えられています。

また、近年、日本で巨大地震が30年以内に起こる確率は70～80%とされています。80%の確率で雨が降ると言われれば、誰でも傘を準備します。しかしながら、同じ80%でも期間が30年以内となると「地震は起こるが、すぐには起こらないだろう」と考えてしまいがちです。

大地震は何時、何処で起きるか判りません。日頃からの備えをしておきましょう。

地震から自分や家族の命を守るため、以下のような準備をしましょう

### 1 生活空間の安全対策

#### ① 安全な空間の確保

- 背の高いタンスや家具の無い部屋の確保（寝室がベスト）
- 額や飾り物の撤去

#### ② 家具の転倒防止策

#### ③ すべてのガラス飛散防止策（窓、食器棚、蛍光灯等）

### 2 非常備蓄品（推奨1週間）及び非常持出品（最低3日）の準備

↳ 裏面参照

### 3 家族との連絡方法・避難場所の確認

### 4 避難所までの経路（含む危険箇所）の確認

居住場所のほか、職場及び通勤経路上の避難場所及び経路

